

第 2 編

東日本大震災からの復興

第1節 東日本大震災の発生

第2節 地域医療復興に向けた取組

第1節 東日本大震災の発生

1 震災の発生

平成23（2011）年3月11日（金）14時46分、牡鹿半島の東南東130km付近（三陸沖）で、深さ24kmを震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、県内では栗原市で最大震度7を観測し、県内の広い範囲で震度6強から5強を観測しました。

この地震により、本県をはじめとした太平洋沿岸部に大規模な津波が発生し、海沿いの集落が軒並み浸水被害を受けたほか、河川を遡上した津波により仙台平野などの平野部では海岸線から数kmもの内陸まで浸水しました。

【図表2-1-1】東日本大震災 本県の震度

震度	市 区 町 村
7	栗原市
6強	仙台市宮城野区、石巻市、塩竈市、名取市、登米市、東松島市、大崎市、蔵王町、川崎町、山元町、大衡村、涌谷町、美里町
6弱	仙台市青葉区、仙台市若林区、仙台市泉区、気仙沼市、白石市、角田市、岩沼市、大河原町、亘理町、松島町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、女川町、南三陸町
5強	仙台市太白区、多賀城市、七ヶ宿町、村田町、柴田町、丸森町、七ヶ浜町、色麻町、加美町

出典：「東日本大震災-宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証-」（県総務部）

2 医療機関等の被害の概要、休廃止の状況等

東日本大震災により、県内各地の医療機関にも甚大な被害がもたらされ、特に沿岸部の医療機関では、津波による壊滅的な被害を受けました。そのため、震災により負傷した患者の受入体制はもとより、入院患者の他病院への搬送など、混乱を極めました。

病院及び有床診療所については115の施設が被災し（県調べ）、医療機関等の被害額は330億円を上回っています（平成29（2017）年6月12日現在、県調べ）。

【図表2-1-2】東日本大震災による医療機関の休止・廃止数（平成29（2017）年3月1日時点）

保健所管内	病院				診療所				歯科診療所				全医療機関計			
	震災前	廃止届	休止届	休止計	震災前	廃止届	休止届	休止計	震災前	廃止届	休止届	休止計	震災前	廃止届	休止届	休止計
気仙沼保健所	7	0	0	0	44	9	0	9	31	8	1	9	82	17	1	18
石巻保健所	13	2	0	2	129	14	0	14	85	7	0	7	227	23	0	23
塩釜保健所	21	0	0	0	260	7	0	7	160	4	0	4	441	11	0	11
仙台市保健所（5区）	60	0	0	0	866	8	0	8	575	6	0	6	1,501	14	0	14
その他保健所	46	0	0	0	317	0	0	0	211	0	0	0	574	0	0	0
県全体	147	2	0	2	1,616	38	0	38	1,062	25	1	26	2,825	65	1	66

出典：県保健福祉部調査

※廃止届：震災以降、被災により廃止届を提出した医療機関（①すでに廃業したもの、②病院が診療所化したもの、③元の開設場所のある同一市町以外に移転したもの）

※休止届：震災以降、被災により休止届を提出し、現在も診療を再開していない医療機関

第2節 地域医療復興に向けた取組

1 東日本大震災後の検討等

震災後、宮城県内の医療関係団体、東北大学及び行政からなる「宮城県地域医療復興検討会議」が平成23（2011）年5月に発足し、復興に向けた対応方策や国に対する要望等について精力的に検討を行い、同年9月に「地域医療復興の方向性」を取りまとめました。さらに、各地域においては災害対応について、保健所、病院、関係団体、地元自治体等で構成する地域連絡会議等を開催し、地域毎の医療提供体制の情報共有・交換を図りました。また、被災地の地域医療復興と健康支援に取り組みながら、生体試料、健康情報が収集されたバイオバンクを構築、得られたゲノム情報、診療情報等を併せて解析し、個別化予防、個別化医療などの次世代医療を実現するため、平成24（2012）年2月、東北大学に「東北メディカル・メガバンク機構」が設立されました。

2 復旧・復興に向けた各種施策

県では、「宮城の将来ビジョン」に基づき、「富県共創！活力とやすらぎの邦（くに）づくり」を基本理念として、「富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～」、「安心と活力に満ちた地域社会づくり」、「人と自然が調和した美しく安全な県土づくり」を県政推進の基本方向として施策展開を図ってきました。

こうした中で東日本大震災に見舞われ、津波による壊滅的な被害を受けた沿岸部を中心として県全域で極めて甚大な被害を被ったことから、「『復旧』にとどまらない抜本的な『再構築』」などを基本理念とする「宮城県震災復興計画」を策定し、復旧・復興を県政の最優先課題として取り組むこととしました。

これまで県では、前記の「地域医療復興の方向性」も踏まえながら、国の地域医療再生臨時特例交付金等を活用した地域医療の再生・復興等に取り組んできました。

【図表2-2-1】地域医療の復旧・復興に係る主な県の事業

区 分	取組の内容等	事業期間
宮城県ドクターバンク事業	医師不足及び地域・診療科による偏在に対応し、地域医療を担う市町村立及び一部事務組合の自治体病院・診療所に勤務する医師を確保するもの	H23（2011）～ 2020
ICT（情報通信技術）を活用した医療連携構築事業	医療従事者の不足が懸念される中、切れ目のない医療の提供体制を推進するため、ICTを活用した地域医療連携システムを構築することにより、病院、診療所、福祉施設、在宅介護事業者等の連携強化・情報共有を図り、子どもから高齢者までだけれもが、県内どこでも安心して医療が受けられる体制を構築するもの	H23（2011）～ H28（2016）
看護師確保緊急対策事業	看護師の確保が困難な沿岸部の被災地に看護師等の新卒者を誘導するため、修学資金の創設や教育環境整備を行い看護職員の確実な確保を図るもの	H25（2013）～ H29（2017）
ドクターヘリ運航事業	救急医療の分野において、治療開始までの時間が短縮されることで、傷病者の救命効果と予後の改善効果が期待されるドクターヘリ事業について、実施主体である医療機関に対し、補助を行うもの	H27（2015）～ 2020
医療施設耐震化事業	災害時の医療体制を確保するため、災害拠点病院等の耐震化（耐震診断及び耐震性を欠く既存施設の建て替え・補強）の費用を補助するもの	H23（2011）～ H29（2017）
医療施設等災害復旧支援事業	被災した医療提供機能の早期回復と施設等の復旧を図るため、施設開設者に対して復旧等費用を補助するもの	H23（2011）～ H30（2018）
気仙沼地域医療施設復興事業	地域医療復興計画に基づく気仙沼地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行うもの	H24（2012）～ H29（2017）
石巻地域医療施設復興事業	地域医療復興計画に基づく石巻地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行うもの	H23（2011）～ H30（2018）
仙台地域医療施設復興事業	地域医療復興計画に基づく仙台地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行うもの	H24（2012）～ H30（2018）

出典：「宮城の将来ビジョン・震災復興・地方創生 実施計画（再生期：平成26年度～29年度）【平成29年度版】」

3 被災医療機関等の復旧・復興の状況

東日本大震災による被害からの医療機関の再開・再建に向けては、被災市町各地において仮設診療所の整備を行いながら進めてきましたが、平成29（2017）年11月現在、1つの仮設内科診療所及び3つの仮設歯科診療所が開設されています。

【図表2-2-2】仮設内科診療所・仮設歯科診療所の状況

仮設内科診療所	仮設歯科診療所
石巻市立病院開成仮診療所（石巻市）	大谷仮設歯科診療所（気仙沼市）
	歌津仮設歯科診療所（南三陸町）
	女川地区仮設歯科診療所（女川町）

出典：県保健福祉部調査（平成29（2017）年11月現在）

また、平成26（2014）年7月に公立志津川病院（新名称：南三陸病院）が、同年9月に気仙沼市立病院が、さらに同年10月に石巻市立病院が相次いで建設に着工し、南三陸病院が平成27（2015）年12月14日に、石巻市立病院が平成28（2016）年9月1日に、気仙沼市立病院が平成29（2017）年10月29日に開院したところです。

【図表2-2-3】医療機関等の再開・再建の状況

医療機関・保健センター名	着工	竣工	開院／開所	規模
気仙沼市立病院	H26(2014).9	H29(2017).4	H29(2017).10	340床
公立志津川病院（現 南三陸病院）	H26(2014).7	H27(2015).10	H27(2015).12	90床
南三陸町保健センター（歌津）	H28(2016).5	H29(2017).5	H29(2017).6	—
石巻市立病院	H26(2014).10	H28(2016).6	H28(2016).9	180床
石巻市夜間急患センター	H27(2015).10	H28(2016).9	H28(2016).12	—
石巻市雄勝診療所	H28(2016).2	H28(2016).11	H29(2017).1	—
石巻市寄磯診療所	H27(2015).7	H27(2015).12	H28(2016).1	—
女川町保健センター	H29(2017).4	H30(2018).9 （予定）	H30(2018).10 （予定）	—
石巻港湾病院（現 石巻健育会病院）	H25(2013).11	H27(2015).2	H27(2015).4	155床
巨理町保健福祉センター	H30(2018).3	2019.9 （予定）	2019年度 （予定）	—

出典：県保健福祉部調査（平成29（2017）年11月現在）

4 東日本大震災とこころの健康

震災から7年余りが経過し、地域医療の復旧・復興は一定程度進んだものの、震災の影響から、うつ病や、アルコール依存症等の精神疾患を招くことが、依然懸念されています。

このことについては、第5編第2章第5節「精神疾患」の項目において、現状と課題を踏まえ、施策の方向を記載することとします。